



安芸の宮島「厳島神社の大鳥居」

慶應義塾大学 広島通信三田会報

みやじま

第 6 7 号

2024年12月

慶應義塾大学 広島通信三田会

# はじめのご挨拶

今回は趣向を変えて、新卒入会者のご挨拶を巻頭に掲げます!!

はじめまして。今年から入会させていただきました**福吉 稔**（フクヨシミノル）と申します。長らく東京に単身赴任していましたが、現在は呉に戻り年間休日365日となっています。

コロナ蔓延中は、しばらくスポーツ観戦・懇親会等欠席していましたが、昨年未頃（ラグビー第100回・慶早戦（国立））から少しずつ解禁してきて、今年は久しぶりにマツダスタジアムでカープを応援してきました。ファームの試合では、中村健人と正木@ソフトバンクを応援してきました。残念ながら、長谷部は登板しませんでした。6月には、広島慶應倶楽部主催のマツダスタジアム特別例会に出席してきました。

広島に戻ったこともあり、慶應の応援はほとんど行けておらず、今年は4月に「早慶レガッタ」の応援と懇親会に出席してきました。来年は松山の坊っちゃんスタジアムで野球の全早慶戦が開催される予定となっており、行こうかなと思っているところです。久しぶりに、「突撃のテーマ、コール慶應、ダッシュ慶應」やってこようかな。

先日は長濱@沖縄通信三田会会長が来広され、お好み焼きを食べながら情報交換など、させていただきました。1月の新年会にて皆様にお会いできることを楽しみにしています。

今後ともよろしく願いいたします。

## 目次

・はじめのご挨拶	福吉 稔	P.1
・目次		P.1
[広島通信三田会・2024 年度活動報告]		
・ [4/20] 2024 年度 総会・食事会		P.2
・ [5/25] 全国通信三田会春期幹事会 (ハイブリッド)		P.2
・ [6/15-17] 第 26 回中四国合同通信三田会 山口大会		P.3
・ [6/25] カープ観戦 (広島慶應倶楽部主催行事)		P.3
・ [8/2] 広島慶應倶楽部総会		P.4
・ [10/19] 全国通信三田会秋期幹事会 (ハイブリッド)		P.4
・ [11/13] 沖縄・広島 通信三田会交流会		P.4
[近況報告: 2023 慶應と広島と自己の探求!!]		
・ 私の近況と 恩師 島崎隆夫 先生との思い出 (前編)	新田 政丸	P.5-7
◆ちよこっと小林メモ◆ === 戦前戦後の教育体制について ===		P.8
・ 慶應と広島と自己の探求!! (近況報告)	河村 保	P.9-10
・ 言論の勝利	檜原 宏明	P.11-12
・ 人は何故 けんかを、国は何故 戦争をするのか	迫田 勲	P.13-17
[2025 年新年会のお知らせ]		
・ [後日談・お礼のメール]・編集後記		裏表紙

・ [4/20] 2024 年度 総会・食事会



- ・ 日時と場所： 令和 6 年 4 月 2 0 日（土）  
 10:00～ 総会 「広島市まちづくり市民交流プラザ」3 階  
 12:30～ 会食 リーガロイヤルホテル広島 6 階「日本料理 鯉城」

**総会：議題**

- ・ 令和 5 年度、  
 活動概況報告、会計報告、監査報告
- ・ 令和 6 年度、  
 活動計画案  
 (1) 「新卒入会(予定)者 2 名の紹介」  
 (2) 「会則改定・交通費の支給」

**総会資料は個別郵送済**

**会食の様子など**

各自近況報告、参加予定の活動について  
 情報交換、会に対するご意見・要望他...

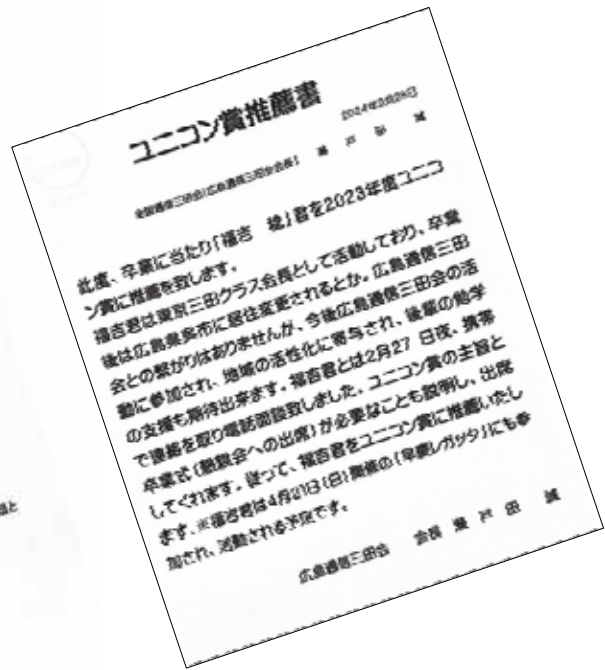
2023年度会計報告書 貸借対照表  
 2024年3月31日現在

借方	金額	貸方	金額
勘定科目		勘定科目	
現金	104,166	預り金	136,440
預金	32,272	当期剰余金	136,440
受払金	0		
合計	136,440	合計	136,440

収支決算書  
 2023年4月1日  
 至2024年3月31日

借方	金額	貸方	金額
勘定科目		勘定科目	
総会費	3,000	経路収入	144,207
会報発行費	42,088	会費	38,000
旅費交通費	90,000	寄付金	50,000
事務費	6,953	雑収入	6,275
予備費	0		
当期剰余金	136,440		
合計	238,462	合計	238,462

2023年度会計監査報告書  
 2023年度会計について2024年3月31日付の帳簿簿面および証拠書類と照合の結果相違ないことを確認しました。  
 2024年 4月 6日  
 会計監査 河村 保



・ [5/25] 全国通信三田会春期幹事会 (ハイブリッド) 市川にて

- ・ 日 時 : 2024 年 5 月 25 日(土曜日) 13 時 00 分開始 (ZOOM 入室は開始 10 分前)
- ・ 場 所 : 山崎製パン企業年金基金会館  
 千葉県市川市市川 1 - 3 - 1 4 (TEL : 047-321-3600)  
 同時 : ZOOM 会議併催予定 (使用するツール : ZOOM を利用)  
 (ホスト : 田沼副部長・高橋副部長)

瀬戸田会長、小林が出席。本会報紙面の都合により、詳細はこちら

<https://hiro-tu-mitakai.net/?p=845>

( 広島通信三田会ホームページ - 2024 年全国通信三田会春期幹事会 (in 市川市) )



## ・ [6/15-17] 第26回中四国合同通信三田会 山口大会

- ・ 令和6年6月15日(土曜日) 13時より中四国合同通信三田会
- ・ 6月16日～17日(日曜日～月曜日) 萩～角島～一の俣温泉泊まり (ホテル舟乗船)



瀬戸田会長・迫田・小田・  
小林・檜原夫妻が出席。

本会報紙面の都合により、  
詳細はこちら

→



<https://hiro-tu-mitakai.net/?p=903>

(※ 広島通信三田会ホームページ - 『第26回中四国合同通信三田会山口大会』)

## ・ [6/25] カーブ観戦 (広島慶應倶楽部主催行事)

- ・ 日時 : 2024年6月25日(火曜日)
- ・ 場所 : MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島 (対 ヤクルト戦)

瀬戸田会長・迫田・福吉 が出席。

## ・ [8/2] 広島慶應倶楽部総会

- ・ 日時：2024年8月2日(金曜日) 18時00分開始
- ・ 場所：リーガロイヤルホテル広島

広島慶應倶楽部の総会は、広島に関係する慶應義塾の卒業生(塾員)のみならず、現役塾生とその保護者・配偶者も出席可能となっている。



今年は学長が直前に来広できなくなり、ビデオメッセージに変更となった。その中で、昨今の物価上昇・維持経費の問題・新札発行に絡め、いわば「慶應ジョーク」のような「福沢諭吉先生の旧紙幣については、慶應義塾大学が責任をもって回収させていただきます」といったコメントが、私のツボに入ってしまった...(笑笑)。私事、懇親会では、今年も瀬戸田会長の教えを守り、くじびきに参加したところ、ホテル宿泊券が当たった。

(小林)

詳細はこちらから

<https://hiro-tu-mitakai.net/?p=1025>

( 広島通信三田会ホームページ - 2024年度広島慶應倶楽部総会・講演会 )



## ・ [10/19] 全国通信三田会秋期幹事会 (ハイブリッド) 三田にて

- ・ 日時：2024年10月19日(土曜日) 13時00分開始
- ・ 場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎4階445教室

瀬戸田会長・迫田顧問ともに現地(三田)に出席。

( 迫田顧問は、教授インタビューのため中途退席 )

## ・ [11/13] 沖縄・広島 通信三田会交流会

- ・ 日時：2024年11月13日(水曜日) 16時~
- ・ 場所：広島駅周辺 (お好み焼き等)

長濱@沖縄通信三田会会長の来広に際し、瀬戸田会長・迫田・福吉・小林が参加。

... 裏表紙へ続く。(返礼メール掲載)



## 私の近況と 恩師 島崎隆夫 先生との思い出 (前編)

新田 政丸 (昭和 33 (1958) 年経済学部卒)

<<\*\*\* おことわり \*\*\*>>

今回の新田様の寄稿原稿は、400 字詰め原稿用紙 16 枚にも及ぶ大作でした。そのため関係各位に  
語り、今号(前編)と次号(後編)の分割掲載にすることとしました。予めその旨をご報告いたします。

### ◆近況報告と寄稿内容

今日此頃自叙伝を書いている。これまで色々な人から「書いてはどうか、協力するから」と  
言われて来たが、その考えが全くなく断って来た。では何故書き始めたのか。

一昨年秋、ある日の明け方夢を見た。神か仏かわからぬが、枕元に立って「自叙伝を書き  
残しておいてはどうか」というお告げがあった。その言葉が妙に耳に残って、二～三日頭から  
離れなかった。私の人生、振り返って見れば、他人にはあまり見られない不思議な、また多様な  
道を歩んできた様に思う。出版するかどうかは別として、この九八年間歩んで来た道の其のまま  
を綴ってみようという思いに至った。現在昭和五四年四月に執行された湯来町町長選挙の件を  
書いているが、四百字詰め原稿用紙一、〇〇〇枚余となっている。春から秋までの間は農作業が  
あり、またカーブの放送などもあって、落ち着いて集中してペンを執る気持ちにならないので、  
殆ど自叙伝にかかわっていない。一〇月に入ればぽつぽつ書き始めてこの冬には完成させたいと  
思っている。

何故冒頭に自叙伝のことを書いたかということ、この中に昭和二八年から昭和三三年三月卒業  
までの、慶応大学通信教育受講期間の、様々な思い出や実態を書き綴っているからである。当時  
の日記や諸資料を見ている内に、忘れ得ぬ私にとって貴重な資料が出て来たので、今回はその  
事象の経緯と内容について述べてみようと思う。

その前に何故慶応の通信教育を始めたかということについて述べることとする。

### ちょこっと小林メモ

=== 広島大学について ===

帝国大学ではない。帝国大学 (現在の国立大学) は、北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、  
大阪大学、九州大学の 7 校と、台湾にあった台北大学、韓国にあった京城大学を合わせて 9 校だけ。

[文理科大学] 昭和時代初期に高等師範学校卒業者の進学先として整備された旧制官立大学。東京文理科大学  
(現・筑波大学) と広島文理科大学 (現・広島大学) の 2 校が設置された。

**教育学部**の前身校となったのは、広島高等師範学校・広島文理科大学・広島師範学校・広島青年師範学校・広島  
女子高等師範学校の 5 校。

西の広島・東のつくば といわれる所以。。

[新八医大 (しんはちだい)] 東京科学大学、弘前大学、群馬大学、信州大学、鳥取大学、徳島大学、広島大学、  
鹿児島大学の八大学を指す通称。

広島大学**医学部**の前身機関は、戦後、国立学校設置法施行前に設置された、広島県立医科大学である。

#### ◆幼少期～高校卒業まで

私は昭和一五年三月、当時の尋常高等小学校高等科二年生を卒業すると同時に、広島鉄道局に就職。鉄道省広島鉄道教習所電信科卒業後、昭和十七年九月より広島電務区電信掛として勤務していたが、昭和十九年六月一日、鹿児島海軍航空隊に飛行予科練習生、いわゆる予科練として入隊した。訓練の途中で終戦となり、昭和二〇年八月二五日復員帰宅した。帰宅後しばらくして昭和二一年、二二年には電務区からの復職要請もあり、大半の友人は復職したが、私は家に年老いた父をかかえていた関係で、復職せず父と共に農業経営に専念するという道を選んだ。

昭和二一年～二二年頃は青年団活動で演芸大会の開催、盆踊り大会の開催等の取り組みに明け暮れた。同時に、廿日市高校定時制の分校誘致運動にもかかわり、これは実現した。昭和二三年七月、分校が開校されると同時に多くの青年男女が応募し、約百二〇余名が入学した。私も誘致運動した手前もあって、卒業までは考えなかったが、一応入学した。授業は夜間でなく昼間で、週三日の終日であった。入学以来四年八ヶ月の在学で、昭和二八年三月卒業することになった。普通科卒業生は男子四名女子二名合計六名で、他は途中で止めてしまった。

#### ◆慶應通信 入学～テキスト学習 →通年スクーリングへ

卒業後の昭和二八年六月、私は水稻の作付準備のため、水田のあぜつけをしていると、その現場に、砂谷中学校の清水源二郎校長が尋ねて見えた。「新田君、砂谷中学校の体育講師が急に辞めることになったので、その後任として出てくれないか。」という申し入れである。数日間熟慮した結果、父の了解も得て、一月期の終り頃から勤務することになった。体育の講師といっても私自身、体育の専門教育を受けている訳ではない。ただ体育教育が大変重んじられた鉄道教習所時代の教科と、予科練時代に一日の半分は体をつくるための体育教育が行われた事などが、少しは参考になったかもしれない。砂谷中学校の教師は校長、教頭を含めて一〇名位であったと思う。校長教頭をはじめ殆どの教師とは面識があり、友人も多かった。勤務は週三日夫々半日であった。

前置きが長くなったが、砂谷中学校の教師の大半は師範卒又はいわゆる新生大学卒であったが、そのうち五名の先生が通信教育をはじめていた。通信教育のあることを知ったのは砂谷中の職場である。通信教育を学んでいる先生方の学校別の内訳は、慶應義塾一人、中央大学一人、法政大学三人であったと思う。私自身、元来高校だけで終わりたくない気持があったところへ、通信教育の受講生と出会ったということは幸運であった。やることに腹を決めた。私は即座に福沢諭吉先生の慶応を選んで手続きに入り入学することが出来た。私は昭和二八年に結婚したので、家族にも話して了解を得た。中学校の授業終了後通信教育をはじめている諸先生との話は、随分参考になった。慶應の通信教育をやっている先生は広島師範卒の教諭であったが、「慶応は語学が厳しい。」と話しておられたが、其の通りであった。私も以前に“みやじま”に投降した際にも述べた如く語学には随分苦勞したものである。

昭和三〇年の夏休みに第一回夏季スクーリング四〇日間出席した後色々考えた結果、なるべく早く卒業したいという思いと、通学生と共に学んで見たいという気持ちから、出来るだけ早く必要単位を取って、通年スクーリングに出席しようという方向で取り組みをはじめた。其の結果、昭和三一年中に通年スクーリングに必要な科目試験を受験、単位を取得し、昭和三二年度の通年スクーリングへの手続きに入った。

昭和三二年初頭頃であったと思うが、通年スクーリング出席の関門となる英語のテストと面接試験が行われた。英語のテストは自分でもわかる程出来なかった。これはやばいぞと思いながら面接試験にのぞんだ。

#### ◆島崎先生 出逢い～ゼミ →慶應義塾大学を退職後

面接の先生は、島崎隆夫経済学部教授であった。若い教授であった。「何故通年スクーリングを希望するのか」「家庭の状況」などが主な質問内容であったと思う。その前に「君の英語のテストはあまり良くなかったよ。」という話もされた。当時私は結婚していて一女をもうけていた。私は家庭内の事情も話し、一日も早く卒業して「地域のために活動したい」、「年老いた父を安心させたい」など話したと思うが、英語テストの結果が余りよくないので通年スクーリング出席は多分難しかろうと考えざるを得なかった。そして半ば諦めていたところ、三月末に通年スクーリング出席許可の通知を受けて、これは夢ではないかと思う程の嬉しさであった。家族にも砂谷中学校にも話して了解をいただき、四月からの通年スクーリングに備えることになる。

ゼミナールは農業経済学、経済思想史が御専門の島崎隆夫先生のゼミに入ることにした。

島崎先生は昭和三一年、当時四十一歳で経済学部教授に就任されている。先生もお若いし、ゼミ（島崎会）も若い。私が入会した同期生は、三年生から入会して現在四年生の七名、一学年下が八名、合計一五名のこじんまりしたゼミで、家庭的な雰囲気の中で運営されていた。私はもう一つ、農業経済論御専門の小池基之先生のゼミにも籍を置いて、時折出席していたが、卒論も島崎先生の御指導をいただき、最後までお世話になった生涯忘れ得ぬ恩師である。

私達以降の島崎会の会員は毎年二十数名が入会され、先生が退任される昭和五七年まで続いている。昭和五七年三月三十一日、慶應義塾大学を退職された後は名誉教授となられ、新設された三重県松坂大学経済学部長に就任され、昭和六十一年四月一日、松坂大学学長に就任されている。そして平成二年、体調を崩され四年間の学長任期を終えて学長の職を譲られている。

<<\*\*\* 次号(68号)へ続く \*\*\*>>



今回、新田大先輩の寄稿原稿を読んで、戦前戦後の教育体制と今後について調べてみた。

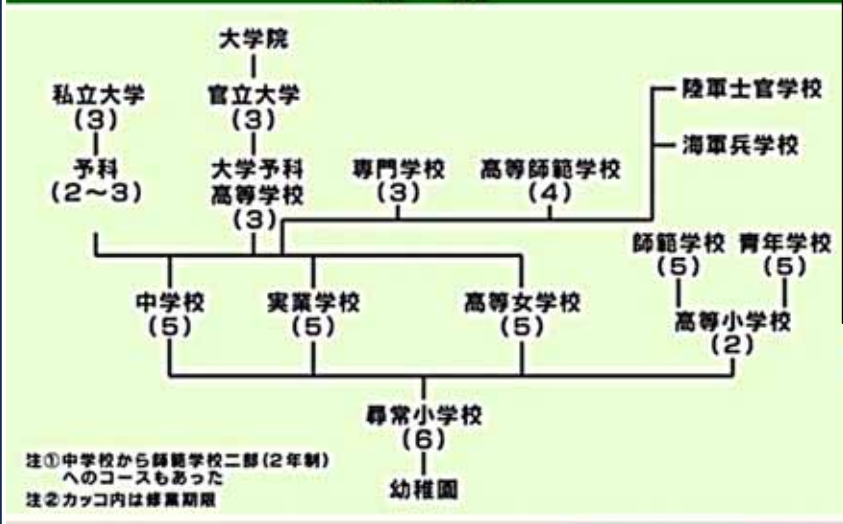
やってみてわかった令和時代の中学受験、変わりゆく学校体系

<https://s.mxtv.jp/tokyomxplus/mx/article/202103130650/detail/>

2021.03.13(土) 06:50 配信

学校体系の変遷

戦前



◆[予科練]とは…◆

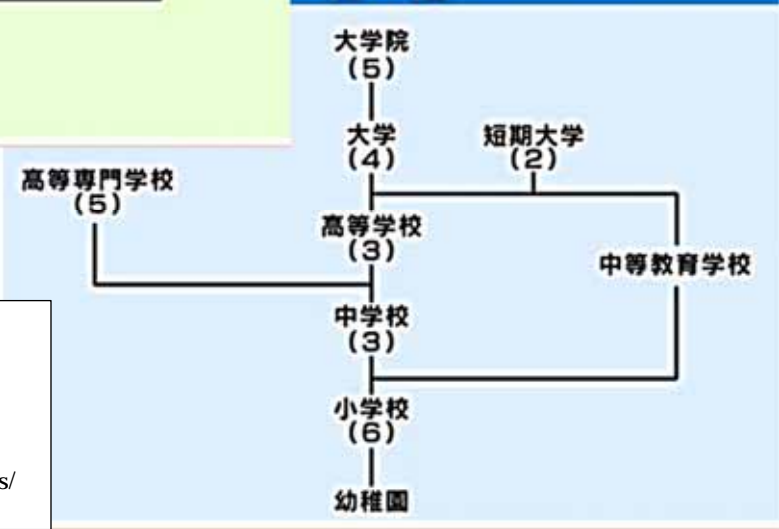
正式名称は海軍飛行予科練習生。昭和5(1930)年に設けられた制度。

高等小学校卒業程度(14~17歳)が対象、全国各地の航空隊で約3年間、航空機の搭乗員に必要な、基礎訓練教育を行った。

桜と錨(いかり)が入った「七つボタン」の制服が憧れを集めた。

終戦間際には特攻隊として、出撃したものも多い。

戦後



<番組概要>

番組名: モーニング CROSS

放送日時: 毎週月~金曜 7:00~8:00

「エムキャス」でも同時配信

レギュラー出演者: 堀潤、宮瀬茉祐子

番組 Web サイト: [https://s.mxtv.jp/morning\\_cross/](https://s.mxtv.jp/morning_cross/)

番組 Twitter: @morning\_cross

弁護士の田上嘉一さんの語り

そもそも戦前は、小学校の後の中学校、いわゆる旧制中学は5年間。そして、旧制高校は今の大学に相当し、大学が大学院に近いものがあり、

「もともと旧制は中高一貫だった。今はそれに徐々に回帰している」。 <中略>

なぜ戦後、学校体系を刷新したのか。結論的には現状の仕組みが非常に機能したから。ただ、今に至るまでには高等専門学校や中等教育学校ができたり、公立校も中高一貫が増えてきたり、「だんだんといろいろなルート、多様性のあるルートができ始めている」。その上で、「これからの世代、社会においてはいろいろな学び方、それぞれの就職事案に応じた成長があると思うので、戦前の制度の全てがいいとは言わないものの、多様性のある制度に帰っていくのも1つの手段としてあるかなと感じた」と息子の中学受験を経ての雑感を披露。 <中略>

今後は「みんなが同じ学年を上がっていくのが変わるのではないか」と推察。そして、「最後は法律が作っていくので、議論されていくべき」と個人的な見解を述べた。

## 慶應と広島と自己の探求!! (近況報告)

河村 保 (昭和 52 (1977) 年経済学部卒)

相変わらず、慶應からの連絡モノが多い。慶應通信で学んだ苦労から、慶應とはなじみ深い。だが自分の現在の体力・気力・金力からして息苦しさが有る。特に、記念行事など寄付金を募る案内文は心苦しい。恥ずかしながら生活に余裕がなく、簡単には応じられない。既に80歳を越えたのに、何の功績も無く、生活に苦労している。

一方で『慶應』の活躍は華々しいものが有る。それがいかに私に係わるのかわからないが、大いに気力の上がるものである。仲間に入れて頂けるだけでうれしい。

慶應の社中の方々にはお世話に成ったが、身を立てて名を上げる事は出来ていない。

通信課程卒業の私も、地域三田会・広島慶應倶楽部へ入会し、若い頃は、年度総会や月例会まで出席した。当時から懇意に接して頂いた。

広島慶應倶楽部では、カープ球団のマツダ耕平オーナーが、慶應の評議員に立候補されて、応援した。当時は広島通信三田会の正式なもの無く、三十人近くの仲間が「例の会」などと称して活動した。マツダオーナーの評議員選挙のために、広島の通信卒の名簿100名程度を添付して応援した。当時の週刊誌などでは、「慶應の評議員選挙」はお金さえ絡んだ行事だと面白可笑しく書かれていた。

一方で、全国通信三田会の松田奎吾会長も立候補されていて、私は選択に大変苦慮した。

松田奎吾会長は「怒の人」として追悼集が残されているが、身も心も広い方だった。弁護士会の役員もされた有能な方で、カラオケでの歌も上手だった。人事の交流も、最後までお付き合いされる方で、東京での通信三田会役員会の後も、二次会までも付き合いされていた。

私が提唱設立した『慶應雑誌(同人雑誌)』にも入会して頂いた。

次の会長、加納時男さんにも入会して頂いた。これまた、スーパーマンで、二つ言えば、十が分かる方で、反応がすぐ帰って来た。経済理論にも精通されていた。毎年くださる年賀状は、ご家族全員の写真と言葉入りで、ほほえましいものだった。

本当に様々な方からお力を頂きながら、今日の日々の生活に苦心するようになり心寂しい。

先の全国選挙で、広島の河井克行さんが選挙違反で検挙された。政治のしがらみとして、多少の金銭のやり取りは普通にあると思うが、逮捕までされるとは、残念に思った。河井さんとは、月例会等で知り合いに成った。そのころに、地元の安佐南区で事業をされている先輩の提唱で、後援会が出来、入会した。いくつかの行事に参加もした。

講演会で、橋本龍太郎氏が来広されて、聞きに行った。「立て板に水」と言える話で感動した。「…………。河井君結婚をしなさい。」とも話された。その後結婚され、披露宴の案内があった。私は身のいびつさに躊躇し欠席したが、その後のなり末を見ると、何かお役に立てなかったかなと寂しく思った。

一般全国選挙で山本太郎のれいわ新選組で、重度障害の方が当選されたのには仰天した。普段から皆で政治を語り合える社会に成れば良いと思う。

私は在宅酸素療法で、酸素を吸引しながらの生活であるが、  
『いのちいっぱい咲きんさい！ (1996年広島国体スローガン)』と、何とか…………。  
一度輝いてみたい と思う。

当時の記念  
テレホンカード



慶應義塾大学  
三田キャンパス

## 言論の勝利

檜原 宏明（平成 28 (2016) 年文学部卒）

“You are the media now.”（あなたがたは今やメディアです）

Twitter を買収し X を実質的に運営するイーロンマスクは、X ユーザーを絶賛して、検閲や情報統制で事実を伝える役割を果たせていない（控えめに言っても）テレビや新聞などの旧メディアに対して、勝利宣言をした。

先日のアメリカ大統領選挙において、共和党のトランプが歴史的な大接戦と伝えてきたメインストリームメディアの予想を覆し、312対226の票差で圧勝した。このような結果は、X を通して、アメリカの実情や世界情勢を把握しているユーザーの多くは容易に予想できていた。

11月6日、選挙を速報する日本のテレビコメンテーターは、トランプの圧倒的リードが確定していく中、焦り・苛立ち・お通夜状態となった。もちろん、客観中立というのは理想に過ぎず、あり得ないとしてもマスメディアの極度の偏向報道が、この日、白日のものとなった。要するに、日米共にマスメディアは今やほとんどが左翼であり、これは異常なことである。

そもそもイーロンマスクは、元々電気自動車を製造していた「テスラの創業者」であり、政策的には、ガソリン車の復活を訴えるトランプとは本来相容れない部分もあったはずだ。様々な経緯が報じられてはいるが、現在の民主党のいき過ぎたリベラル思想についていけず、特に、「トランプ暗殺未遂事件」の後は表に立ち、積極的にトランプを応援した。

世界を席卷する左翼グローバリズム全体主義がこれ以上蔓延すれば、「言論の自由」は、ほぼ完全に無くなり、小説などに「ディストピア」として予言されていた「管理統制社会」が実現することになってしまう。

マスクはこの度の選挙で、もしトランプが勝てなければ実質的にアメリカ最後の大統領選挙になるし、自分も逮捕されるだろうと言っていた。Twitter を買収したのも言論の自由を守るためだ。それが無くなると民主主義は死んでしまう。マスメディアだけでなく様々な SNS や Google も情報統制があり、金融資本の側に都合の悪い情報はほぼ表に出せない。出ているものはその程度なら良いと許容されているに過ぎない。現状、大衆が自由にものを言い送受信できる情報空間は、X くらいだろう。しかしながらそれが風穴になり、トランプの地滑り的大勝利に貢献することとなった。

トランプは「ディープステイトの解体」も公言している。これこそ彼が、長い間戦ってきたものである。

ひと昔前は「陰謀論」とされ、公に口にする者は嘲笑され社会的に消されてきた。しかし、大多数の有権者が選んだ「アメリカの大統領」の存在を、そのような無意味なレッテル貼りで消せるだろうか。それはトランプと共に、切実に戦ってきたアメリカ市民を愚弄することにならないだろうか。

「ディープステイト」は「陰謀論」ではなく、実際に陰謀を働いてきた人たちであり、解明解体しなければならないとトランプは考えている。

グローバリズムとは何か。

理念はさておき、実際的には、不法移民の大量流入などにより、国家の破壊や解体が推し進められてきた。この度の米大統領選挙でも南部国境の意図的崩壊による1000万人以上とされる不法移民による社会の混乱が、一つの争点となったことは間違いない。それを積極的に引き起こしたのがバイデン、ハリス政権だ。

エプスタインやディディのリスト、人身売買、製薬会社の疑惑などの様々な暗部にメスが入ることが言われている。それを喜ぶ者、顔面蒼白で怯える者、アメリカから逃げ出す者…。様々であろうが、今歴史が一つ動いたということでありパラダイムの転換点とも言える。

私はこの度の米大統領選挙の結果を受け、世界はぎりぎりのところで守られたと感じている。もちろん戦いはこれからだが、いい時代にシフトするだろう。



## 人は何故 けんかを、 国は何故 戦争をするのか

迫田 勲 (昭和 43 (1968) 年法学部卒)

日本はこの 80 年近く戦争がない、非常に有難い、稀有な国。

国家と国家が武力で解決しようとするのが戦争。戦争は、国土を破壊、多くの死傷者を出し、双方に甚大な被害を生じる。孫子は「兵は国の大事、死生の地、存亡の道なり」と 2500 年も前から戦争の愚かさを論じ、よくよく考えよ、と警告している。人類は平和を希求しながら何故戦争を繰り返すのか、戦争はこの世から無くならないのか。戦争と平和、永遠のテーマについて考えてみたい。

### 緊迫している世界情勢

今、ロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナガザ自治区の戦争、北朝鮮と韓国、台湾と中国、大国アメリカ、ロシア、中国の覇権争等々、対立、緊張が続き情勢が緊迫している。日本は核を保有する専制国家のロシア、中国、北朝鮮に囲まれている。

日本は、アメリカにこれらの脅威から防波堤となり守られている (核の傘)、代わりに日米地域協定に基づき、アメリカに基地 (沖縄、岩国、横田、三沢など) を提供している。これらの基地には、軍艦や飛行機等が配置されアメリカ兵が常駐し、常時日本や近郊の情勢を監視している。仮に台湾や朝鮮半島に有事が起った場合、アメリカが関与、敵がこれらの基地を攻撃する可能性がゼロではない。つまり、日本は戦争をしないとんでも巻き込まれる可能性があり、安全保障が懸念される。

### ◆ 何故、人は喧嘩、国は戦争をするのか

人はよく喧嘩をする。僕も子どものころ、度々喧嘩をし、先生や親から叱られた。注意され叱られてもまたする。大人になると知恵・分別が付き、派手な殴り会いはしないが、言葉や態度、表情で表す。個人や集団でするのが喧嘩、紛争を国家と国家が武力で解決しようとするのが戦争。戦争は一旦始まると勝つことが至上命令 (目的)。あらゆる方策を行い、人を殺し、他人 (他国) のものを奪うことが許される。挙句の果ては核兵器使用も…。お互い憎悪はエスカレーと、際限がない。その結果、勝者もその被害は人的、物理的だけでなく、勝者は敗者から代々子孫に至るまで恨みを買う。日本と韓国、中国のように。それでも何故、戦争をするか、その原因を考えてみたい。

**闘争本能** … 生きもの (人間も) は厳しい環境から生きなければならない、そのため、神様から生きるため戦う (闘争本能) を与えられた、と思う。

**猿から進化した人間** … 猿は餌を巡って集団で縄張り争いをする。メスを巡ってボス争う、人間はこの DNA があると、言われる。

人間の煩惱 … 西洋のことわざに「欲望と怨念戦争の卵」、つまり、「人間は自己中心的な欲望、怒り（腹を 立てる）、愚か（嫉妬、ねたみ、恨み、怨念）と仏教でいう三毒がある」と言われる。

これを仏教は「煩惱」というが、分かり易く言えば「苦しめる心の病」である。これは古今 東西、人間誰で生まれて死ぬまで持っており、完治はできないことは、浄土真宗を開いた親鸞 聖人が比叡山で 20 年間厳しい修行されたが、結局この心の病（煩惱）を取り除くことができず 下山された、ことでも分かる。国土が欲しい、資源が欲しい、人間の欲望は際限がない。日本が太平洋戦争になった発端は、東南アジア諸国に販路開拓や資源獲得（自己中心的な欲望）これがアメリカと衝突、アメリカから石油を断たれた（怒り、恨み）ことによる。しかし国益を正義に、戦争になった。欲が全部悪いのではない、食欲、睡眠欲、異性欲、経済欲、名誉欲、は生きていくために必要である。問題は自己中心的な欲である。これがぶつかりあいで喧嘩や戦争になる。

覇権主義、「トゥキディデスの罍」 … 従来の覇権国家に新興国家が台頭、その地位を脅かす時、戦争が不可避となる現象をハーバード大学の政治学者が「トゥキディデスの罍」と発表している。長い間アメリカが世界に君臨、大きな影響力を保っていたが、近年中国が経済力、軍事力を強め、一帯一路構想や海洋進出を強め、地域の平和と安定を脅かすとアメリカが警戒、衝突している。要は世界を支配する大将になりたいのだ。

その他 … 宗教の違い（神のお告げ）、民族（価値観の違い）、ナショナリズム（祖国愛）

### 「共命鳥」という仏教の教え

お釈迦さまは 2500 年も前、喧嘩や戦争に勝者はいない、と「共命鳥」という例え話で戦争の愚かさを警告している。これは 1 つの胴体に 2 つの頭を持つ、美しい鳥。しかしお互い仲が悪い。ある時、一方がだまして毒を飲ませる、飲まれた方は勿論、命を落とすが、胴体が 1 つだから、やがて自分も死ぬ。つまり、お釈迦さまは喧嘩や戦争に勝者はいない、すべての命は繋がっている、と例え話で教えてくださっている。私達は他人と関係ない、バラバラと思っているが、皆同じ空気を吸い、同じ水を飲み、太陽の恵みを受けて生きている。見えないところで「いのち」は繋がっていることをこの例え話で教えてくださっている。

「2500 年前、お釈迦さまが説かれたこの教えがインド、中国、百済の国を経て、日本に仏教として定着。お葬式や法事等で僧侶が読まれる「仏説阿弥陀経」の中にこの言葉が出てくる。現在風に言うと、2 つの頭は国、例えば韓国と北朝鮮、毒は原子爆弾、胴体は地球、と考えるとわかり易い。

### ちょこっと小林メモ

=== 語り部 迫田さん 2024 ===



迫田さんの原爆体験を基町高校 2 年生が絵に描くドキュメンタリー  
「私の体の中に毒針がいる」79 年経った今も続く被爆者の苦悩 #戦争の記憶  
<https://wararchive.yahoo.co.jp/wararchive/tss4.html>  
2024/08/16(金) 配信 by TSS テレビ新広島



## ◆ 戦争は99.9%なくなる

歴史研究家によると、人類史上、世界で戦争をしなかった期間は通算6年という。99.9%（数学ではなく言葉）は戦争をしている。紀元前も、2000年経った今も。人類は戦争の歴史と言わざるゆえんである。生きていくために神様が与えた本能や完治できない心の病（煩惱）を持つ宿命があり、同じ過ちを繰り返す。だから、戦争はなくなる。

けれども人間は良心、慈愛、反省などもう一つの仏心を持つ。この心が野生本能や自己中心的な欲望を抑える時、喧嘩や戦争はなくなる。しかし、その心が勝つのは0.1%。人間は悪に弱い。だから平和は有難い、永遠のテーマである。

人間の心をリンゴに例えるとわかり易い。闘争本能と煩惱は中の種（芯＝野獣）外の皮は良心や慈悲の心、恥じ、反省心など本来の（人間）、中の種は強くしつこい、息苦しいから絶えず外に出ようと隙を伺い（中の野獣の心が）外にでる。これを外側の薄い皮で覆い絶えず見張っているが、油断すると直ぐ外にでる。このように人間は善悪、仏心と鬼心を合わせ持つ、矛盾した心を持つ、ハッキリ言えば正体不明な動物である。



地位も名誉もある立派な人（選ばれた国会議員や一流企業の会長、社長でも）が金や色に目がくらみ、新聞や週刊誌沙汰になり、なんであの人が、と思うことはよくあることだ。

人間は、難病、心の病巣を抱えて生きている。完治はできない、だから絶えず気をつけて抑えなければならない。つまり、平和はあるものではない、創るものである。

## ◆ 人類の敵、核兵器について

現在世界に9ヶ国で12000余の核弾頭がある。このうち3900余は実践配備されている。ボタンを押せば直ちに相手国に飛んでいく。今は飛行機を飛ばさなくてもミサイルに核弾頭をつけて遠方まで飛ばす技術がある。それは一瞬にして都市を破壊、無差別に多くの人（人間だけではない、動物も鳥も虫も全ての生き物）の命を奪う。広島や長崎で証明されたとおりの。人道上許されない。「のちを」与えた神への冒瀆。

被爆国日本は世界に呼びかけ、これをなくしなければならない、と「核兵器廃絶」を主張。これに対しアメリカ・ロシア・中国など核保有国は、いやこれがあるから戦争を踏みとどまらせ脅しになる、平和に必要と「核抑止論」主張。世界情勢が緊迫している今日、核を保有、軍事大国の「核抑止論」が趨勢。日本は被爆国であり、アメリカの傘にあり、ジレンマ…、双方の箸渡し役である。

戦争、核兵器は人類の敵と書いたが、それを開発するのも、威嚇するのも、使用するのも、人間の心が決める。だから真の犯人は人間である。



## ◆ 戦争、核兵器を無くすために、私達ができること

戦争や核兵器使用は人間の心が決めると書いた。闘争本能や煩惱を持ち、不完全で過ちを犯す人間は、それを根絶することはできない。が抑えることはできる。それは

### 心の浄化

鬼心を抑え、相手（違い）を理解し許す、相手を思う、相手に譲る、などの心を養う。これについて、仏教（お釈迦様の教え）の「利他」という教えを「3尺3寸の箸」という例え話で、教えてくださっている。

ここに「御馳走」とそれを食べる「3尺3寸の箸」がある。あなたは目の前の御馳走をどうしてたべますか、1mもの長い箸では口に入らない、悪人は自分で食べようともがく。善人はそれを他に与える、相手からもらう。そうすれば、お互い口に入る。お互いがハッピーになる。これが「利他」という、お釈迦様の教え。

車を運転して横道からで出ようとウインカーを出す、本道の車がどうぞ、と譲ってくれる。ありがとう、ハザードランプを出す、これだけで双方の心が通じ、いい気分になる。日常よくあることであるが「利他」という行為である。相手のことを思い、譲れば、喧嘩も戦争もなくなる。それができないのも人間。

尚、交通にお互い相手に譲ることをシステム化したのが交通信号。双方が少しの時間を相手に譲ることにより、スムーズに車が流れる。

### 伝え、民意、世論を醸成すること

都市を破壊し、無差別大量に多くの人を殺す戦争・核兵器はなくさないといけない。それは分かっているができないのが人間。ではどうすれば良いか。それは戦争・核兵器が如何に恐ろしいものであるか、不幸にするものであるかを、広島や長崎のことを「見て」「聞いて」「他の人に伝え」「発信し」「他の人の理解と共感を得る」。

この輪を拡げること、これがみんなの声、民意となり、更に広がり世論となる。先ずは自分から始める、小さな一歩であるが、拡げれば大きくなる。一番いけないことは、世界情勢や平和に無関心である。福沢諭吉先生は「国民の無関心は国力低下、国を亡ぼす因に」と警告されている。

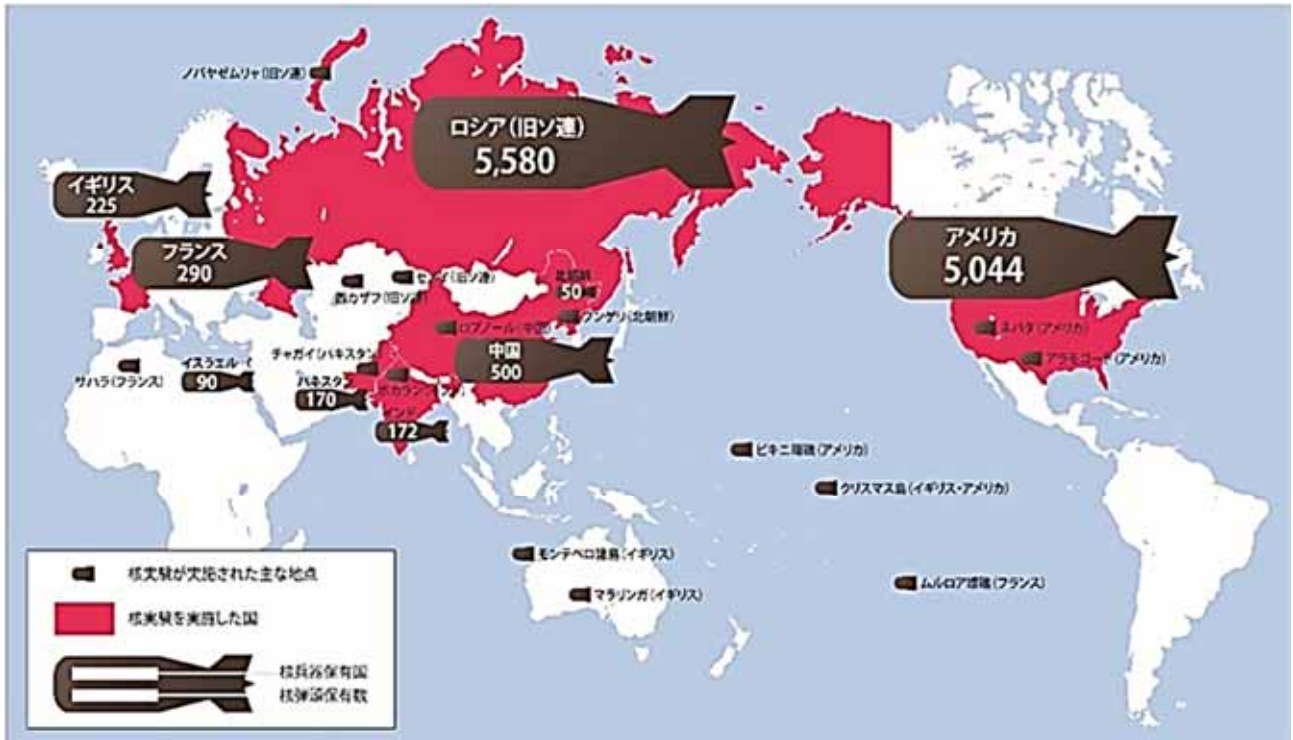
私達は皆、幸せになるため、生まれ、生きている、それを人が（人為的に）奪うものは戦争、核兵器である。それが分かっているが、できない、やめられない、失敗を繰り返すのが人間、反省し、止めるのも、できるのも人間。この正体不明が私達、人間である。

自分の心をコントロールしなければ、心しなければいけない、と思う。

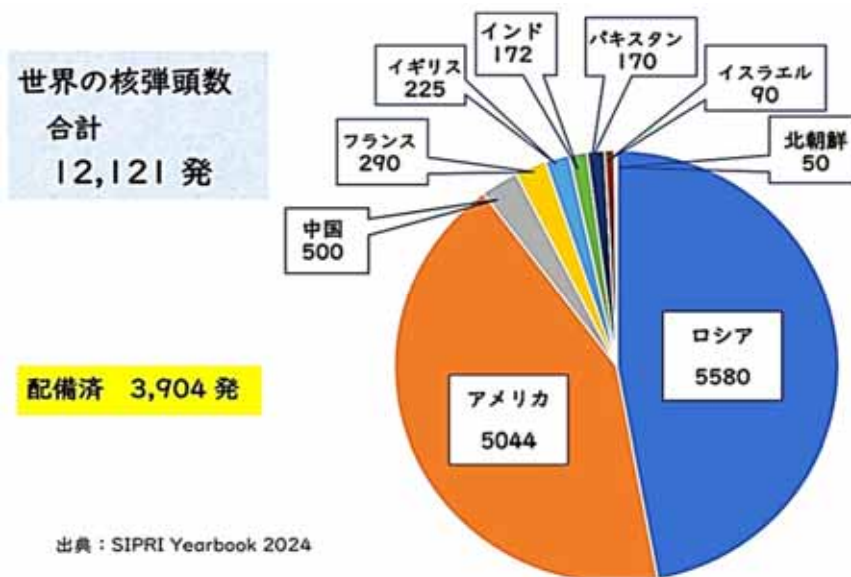
=== 参考資料 ===

核弾頭の保有数と世界の核実験場

核弾頭の保有数は、実戦用としてミサイルや基地に配備されている弾頭のほか、備蓄中、解体待ち、実戦使用する前の準備を要する弾頭を含む推定数です。9か国の核兵器保有国が保有する核弾頭数は12,121発で、3,904発の核弾頭が実戦配備されています。



出典：SIPRI Yearbook 2024, 長崎大学核兵器廃絶研究センター (数字は推定、丸めた結果。実際の合計値と異なる場合がある。)



令和 6 年 12 月 10 日

## 「広島通信三田会 2025 年 1 月度会議」 & 新年会のお知らせ

今年も残すところあとわずかとなりました。

皆様におかれましてはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

「広島通信三田会」では、新年会を企画いたしましたので、ご案内させていただきます。  
ご都合の良い方は、是非ご参加ください。

【日時】 令和 7 (2025) 年 1 月 18 日(土)

-----  
集合、 11:30 ホテルグランヴィア広島 1F ロビー  
-----

【会場】 12:00~ カフェ&ブッフェ「ディッシュパレード」  
(【JR 広島駅新幹線口】ホテルグランヴィア広島 2F)

【議題】

来年(2025)度行事予定の打ち合わせ  
次回会報「みやじま」68 号の掲載内容について  
その他、..

【食事会】...

旅するブッフェ 贅沢・海の幸と北海道グルメランチ  
(各自実費税込 4 千円前後・ドリンク代別途)

-----  
解散(終了)、14~15 時頃の予定。  
-----

なお、準備・予約の都合上、出欠希望の旨を

来る 令和 7 (2025) 年 1 月 10 日(金) 23:59 〆切 までに

広報担当・小林 まで お知らせくださいませ。

メール： [hfd03521@nifty.com](mailto:hfd03521@nifty.com)

LINE 交換済みの方は、LINE トークからも可  
郵便はがき使用時は、編集先 (本冊子裏表紙参照) へ

メールの返信は、メールか「案件」の返信をお願いします

以 上

[後日談・返礼メール]

## 沖縄・広島 通信三田会交流会

広島通信三田会 広報担当 小林 節子 様

先日の広島出張の際は、広島通信三田会の皆さまとお会いすることができ、本当にありがとうございました。初めての広島でしたが、広島市を中心に福山、呉、宮島も見学することができ大変充実した出張となりました。

特に広島焼きを食べた夜は、広島通信三田会の皆様と一緒にあったからこそ、楽しい時間を過ごせたのだと思います。

また、翌日宮島に視察に行った際は、厳島神社の横に、長濱神社を発見して嬉しくなりました。  
~<中略>~ 改めまして、素晴らしい時間をありがとうございました。これから寒くなりますので、どうぞお体にはお気をつけください。

沖縄通信三田会 長濱 直次



お好み焼き、ご馳走様♪

長濱@沖縄通信三田会会長、来広に際し、交流のお声掛け頂き、誠にありがとうございました。平日夜ということもあり、広島通信三田会の会員はほぼ広島市外在住のため、多少の不手際等失礼しましたが、「お好み焼き」を喜んでいただけたようで幸いに思います。また機会がありましたら、どうぞ宜しくお願いします。  
(小林)

## 編集後記

壮絶な「夏」でした。暑かったですね。「健康第一」というよりも、「命を守れ」と。11月になっても「夏日」があり、翌日は気温が10℃以上下がるという異常気象…。これからどれくらい寒くなるのでしょうか…？

今号は、大先輩の大作が届きました。次号へ続編もあります。魂の制作意欲・探求心、そして理想。夢や目標を持つことは、こんなにも精神的に揺るぎない支えとなるのかと、圧倒されております。経験し得ない時代や環境を、間接的にでも空想できる機会はなかなか無いでしょう。会報の編集をしながら、疑似経験や同意・異議、安堵や遺恨、達成感や後悔等、一人で百面相している私(小林)を想像してみてください。。 …次号もよろしくお祈りします〜♪

(小林)

### 慶應義塾大学 広島通信三田会報 みやじま 第67号

発行 広島通信三田会 会長 瀬戸田 誠

編集 広島通信三田会 幹事(広報担当) 小林 節子

〒739-0145 東広島市八本松町宗吉 171-1

E-mail hfd03521@nifty.com

発行 2024年12月20日

会のHP <https://hiro-tu-mitakai.net>

